

<本教材を用いた授業展開案>

情報科（社会と情報）学習指導案

- 1 単 元 名 情報が社会に及ぼす影響と課題
- 2 学 年 情報科科目が開講される学年
- 3 使 用 教 材 デジタル教材「検索サイトを使ってみよう」
- 4 単 元 の 目 標 多様な情報が、私たちの生活にどのような影響を与えているかを理解する。また、情報社会の特徴について、個人が知り得た情報を管理する能力を高めることの必要性を認識する。
- 5 指 導 計 画（6時間）
- 第1次 情報と情報社会 2時間
- 第2次 情報社会の問題 3時間（本時2／3）
- 第3次 個人情報とその保護 1時間
- 6 本 時 の 目 標 情報を表現し伝達する手段である検索サイトの特徴を理解するとともに、情報を正確に効率よく取り扱うための能力を身に付ける。
- 7 本 時 の 展 開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価(◆)
導 入	○情報機器の種類と取得方法について確認する。	○情報機器を知る。 ○情報の取得の方法を確認する。	○普段使用している情報機器をあげさせる。 ○その機器で得られる情報の取得手段を考えさせる。
展 開	○タブレット端末またはコンピュータにて教材を起動させ、実行する。	○スタート画面を開く。 ○作業を進める。 ・ キーワードを選ばせる。 ・ 説明文をしっかりと読ませ選択させる。 ・ それぞれのサイトで、次のページへと移動できる部分を探しながら進ませる。	○教材の使用方法を読ませる。 ○各ページの内容を確認させながら、ページを進めさせる。 ◆後々の結果分析時に必要となるため、途中のページに書かれている数字を記録しておくことを伝える。 [技能]
		○全員が進度調整画面に到達する。	○早く到達した生徒には、違う検索ワードでも試すよう促す。 ◆全員が「STOP」画面に到達した段階で、次に進むためのキーワードを提示し、入力させる。 [技能]
		○ペアになり、表示されている画面を比較し、違いを確認し、明示された課	○なぜ表示された結果になったのかを分析をさせる。 ○どこで模倣サイトに入り込んで

		題に取り組ませる。	いたのかを共有させる。 ◆分析結果をまとめ、発表につな げさせる。 [知識・理解]
ま と め	○本時のまとめ	○次時の発表に向け、気付 いた点をペアで文章にま とめる。	○次時の発表の方法を提示し、その 準備をさせる。

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報や情報社会に関心 をもち、身のまわりの 問題を解決するため に、自ら進んで情報及 び情報技術を活用し、 社会の情報化の進展に 主体的に対応しようと する。	情報や情報社会におけ る身のまわりの問題を 解決するために、情報 に関する科学的な見方 や考え方を生かすとと もに、思考を深め、適 切に判断し表現してい る。	情報及び情報技術を 活用するための基礎 的・基本的な技能を 身に付け、目的に応 じて情報及び情報技 術を適切に扱う。	情報及び情報技術を 活用するための基礎 的・基本的な知識を 身に付け、社会にお ける情報及び情報技 術の意義や役割を理 解している。

<本教材を用いた授業の展開例>

工業科（情報技術基礎）学習指導案

- 1 単 元 名 情報収集と活用
- 2 学 年 情報技術基礎が開講される学年
- 3 使 用 教 材 デジタル教材「検索サイトを使ってみよう」
- 4 単 元 の 目 標 社会における情報化の進展にともない、コンピュータの特徴を知り、利用法について関心を持つとともに、産業社会に及ぼす影響について理解する。また、インターネットの普及により、個人が気軽に情報の発信や受信を行えるようになった点を踏まえ、情報化社会では、自分と他人の権利を守ることの重要性について理解する。
- 5 指 導 計 画（7時間）
- 第1次 マルチメディア 3時間
- 第2次 情報収集と活用 4時間（本時1／4）
- 6 本 時 の 目 標 情報を表現し伝達する手段である検索サイトの特徴を理解するとともに、情報を正確に効率よく取り扱うための能力を身に付ける。
- 7 本 時 の 展 開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価(◆)
導 入	○情報機器の種類と取得方法について確認する。	○情報機器を知る。 ○情報の取得の方法を確認する。	○普段使用している情報機器をあげさせる。 ○その機器で得られる情報の取得手段を考えさせる。
展 開	○タブレット端末またはコンピュータにて教材を起動させ、実行する。	○スタート画面を開く。 ○作業を進める。 ・ キーワードを選ばせる。 ・ 説明文をしっかりと読ませ選択させる。 ・ それぞれのサイトで、次のページへと移動できる部分を探しながら進ませる。	○教材の使用方法を読ませる。 ○各ページの内容を確認させながら、ページを進めさせる。 ◆後々の結果分析時に必要となるため、途中のページに書かれている数字を記録しておくことを伝える。 [技能]
		○全員が進度調整画面に到達する。	○早く到達した生徒には、違う検索ワードでも試すよう促す。 ◆全員が「STOP」画面に到達した段階で、次に進むためのキーワードを提示し、入力させる。 [技能]
		○ペアになり、表示されている画面を比較し、違い	○なぜ表示された結果になったのかを分析をさせる。

		を確認し、明示された課題に取り組む。	○どこで模倣サイトに入り込んでいたのかを共有させる。 ◆分析結果をまとめ、発表につなげさせる。 [知識・理解]
まとめ	○本時のまとめ	○次時の発表に向け、気付いた点をペアで文章にまとめる。	○次時の発表の方法を提示し、その準備をさせる。

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報や情報化社会における個人の責任について関心をもつとともに、身のまわりの問題解決のため、情報技術を活用し、社会の情報化の進展に意欲的に対応しようとする。	情報や情報化社会における身のまわりの問題に気付くとともに、その問題を解決するために、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱う。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

<本教材を用いた授業の展開例>

特別活動（ホームルーム活動）学習指導案

- 1 題材名 「インターネットの危険性」
 (2) 適応と成長及び健康安全
 ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任
- 2 使用教材 デジタル教材「検索サイトを使ってみよう」
- 3 題材の目標

社会における急激な情報化の進展にともない、インターネットは日常生活に欠かせないコミュニケーション手段となった。また、インターネットの普及により、個人が気軽に情報の発信や受信を行えるようになった点を踏まえ、情報化社会では、自分と他人の権利を守ることの重要性について理解させる。情報を正確に効率よく取り扱うために、情報を表現し伝達する手段である検索サイトの特徴を理解するとともに、効率的に取り扱うための能力を身に付ける。





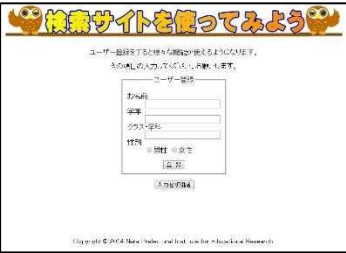

4 本時の展開


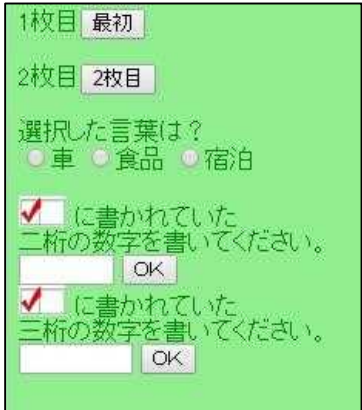
	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導 入	○情報の取得方法を確認する。	○コンピュータにおける情報の取得方法を確認する。	○コンピュータで得られる情報は何かを考えさせる。
展 開	○タブレットまたはコンピュータにて教材を起動させ、実行する。	○スタート画面を開く。 ○教材を進める。 ・ キーワードを選ばせる。 ・ 説明文をしっかりと読ませ選択させる。 ・ それぞれのサイトで、次のページへと移動できる部分を探しながら進ませる。	○教材の使用方法を読ませる。 ○各ページの内容を確認させながら、ページを進めさせる。 ○後々の結果分析時に必要となるため、途中のページに書かれている数字を記録しておくことを伝える。
		○全員が進度調整画面に到達する。	○早く到達した生徒には、違う検索ワードでも試すよう促す。 ○全員が「STOP」画面に到達した段階で、次に進むためのキーワードを提示し、入力させる。
		○ペアになり、表示されている画面を比較し、違いを確認し、明示された課題に取り組む。	○なぜ表示された結果になったのかを分析をさせる。 ○どこで模倣サイトに入り込んでいたのかを共有させる。 ○分析結果をまとめ、発表につなげさせる。
ま と め	○本時のまとめ	○ペアでまとめた分析結果を、5チームほどに発表させる。 ○その他の意見がないか問いかける。	○出てきた分析結果を基に、情報活用能力を高めるために意識すべき事項を理解させ、実践につなげるよう促す。

この教材のコンセプト（説明用PPT）

説明	画面	説明	画面
①「検索サイトの危険性」について考えていくことにします。	検索サイトの危険性	②私たちはgoogleやyahooなどの検索サイトは何気なく使っています。	検索サイトを使ってみよう
③最近新聞紙上で、偽サイトの問題が出ていますが、サイトに潜む罠はどのようなものでしょうか？	サイトに潜む罠	④何気なく使用している検索サイトから誘導されているかもしれません。そのサイトは正規サイトでしょうか？いや、模倣サイトでしょうか？	偽サイト？誘導されたサイト・・・
⑤インターネットという便利なツールにも危険が潜んでいる事を理解しているでしょうか？	インターネットの危険性	⑥では、仮想空間ではありますが、危険性を体験してみてください。	実際に（架空サイトを）試してみて
⑦目をこらして見てください。どのようなところに罠が仕掛けられているでしょうか？	どのようなところに罠？	⑧「なぜここで、個人情報を入力するの？」と疑問が起きることはありませんか？	個人情報取得の手口
⑨利用者が危険なサイトに入らないために企業が取り組んでいることはどのようなものでしょうか？	危険なサイトに入らないためには・・・	⑩よく行くサイトは要注意です。いつも見ている画面と何か異なっていることはありませんか？	いつも見ている画面と同じか？
⑪何気なく記載されている個人情報は本当にこのサイト（企業）に必要なものでしょうか？	そのサイトに必要な情報？	⑫目の前にある情報の正しい判断と対処方法をしっかりと学びに繋げるよう授業展開してください。	正しい判断とどのような対応をするか？

マニュアル（作業手順）

項目（画面）	作業	指導上の留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ○JavaScript が有効な場合 「教材」をクリックする。 ○JavaScript が無効の場合 「初期設定」をクリックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マシントラブル等で時間差が生じたときは「教材の使い方」を一読させるとよい。
	<ul style="list-style-type: none"> ○「検索サイトの危険性」をクリックする。 	
<p>検索してみよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○説明を読んでから、スタートをクリックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○この教材におけるルールを共有するために、説明文をしっかり読ませる。 ○今回実施する教材の説明と進め方についての説明を読む。
<p>1. 本編開始</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○クリックした項目の記録を取りながら、ページを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ある程度の時間を区切りながら、個の作業であることに着目させ実施させる。 ○記録を確実にとらせ、後々必要であることを理解させる。
<p>2. STOP</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○早く到達した場合は少し待たせる。 ○全員の足並みがそろった段階で、パスワードを入力させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全員がこの画面に到達したことを確認した状態で、ペアを作り、これからはペアでの学習であることを理解させる。

<p>3. CHECK</p> 	<p>○選択に仕方によって4種類の結果が表示している。 「どこの罫が潜んでいたのか」 「サイトを見るときにどこに注意してきていたか」 の2点について討議する。</p>	<p>○ペアでそれぞれ進んできた道筋について検討し、どこに罫が仕掛けられていたのかを討議の中で発見させる。</p>
<p>4. ACT</p> 	<p>○画面左あるチェックボックスで、たどってきた画面を振り返ることができる。 (このときに数字が必要となる。)</p>	<p>○サイトのどの部分が問題であるか、どのような行為が問題であることを認識させる。 ○罫を仕掛ける側の情報収集の仕方について考えさせる。</p>
<p>5. PLAN</p>	<p>○グループで発表する。</p>	<p>○適切な情報の収集、整理、分析ができるかを討議し発表する。</p>
<p>6. 振り返り</p>		<p>○情報を収集、発信の際の責任や情報を取り扱う際の留意点についてのルールやモラルなどについて理解させることで、情報活用能力を高めるよう意識づける。</p>